

ネイティブ牛デオキシリボヌクレアーゼⅠ

Cat. No. NATE-0198

Lot. No. (See product label)

はじめに

明 デオキシリボヌクレアーゼⅠ（通常 **DNaseⅠ** と呼ばれる）は、ヒト遺伝子 **DNASE1** によってコードされるエンドヌクレアーゼです。**DNaseⅠ** は、ピリミジンヌクレオチドに隣接するリン酸ジエステル結合で **DNA** を優先的に切断し、3' 位に自由水酸基を持つ 5'-リン酸終端ポリヌクレオチドを生成し、平均してテトラヌクレオチドを生成します。これは、一本鎖 **DNA**、二本鎖 **DNA**、およびクロマチンに作用します。**棄物管理エンドヌクレアーゼ**としての役割に加えて、アポトーシス中の **DNA** 断片化に関与するデオキシリボヌクレアーゼの一つであると考えられています。

用途 タンパク質サンプルから **DNA** を除去するために使用されます。**DNaseⅠ** は、ラベル付き塩基を **DNA** に組み込むための最初のステップとして **DNA** を切断するために使用されます。**Creative Enzymes** の酵素は、ラット脳組織の処理に使用されました。この研究では、アストロサイト上の軸索成長がオリゴデンドロサイトによって抑制されないことが示されました。別の研究では、解凍された固定 **E. coli** サンプルが **Creative Enzymes** の **DNaseⅠ** と他の酵素で消化されました。消化は、核酸の透過性を高める前と染色の前に行われました。牛脾臓由来のデオキシリボヌクレアーゼⅠは、パチルス・サブチリスにおけるヌクレアーゼの二次元ゼイモグラム分析を調べる研究で使用されました。牛脾臓由来のデオキシリボヌクレアーゼⅠは、マイナーグループ結合およびインターカレーターがマイナーグループ結合タンパク質 **RecA** およびデオキシリボヌクレアーゼⅠの **DNA** 結合に与える影響を調べる研究でも使用されました。

別名 **DNASE1**; デオキシリボヌクレアーゼⅠ; デオキシリボヌクレアーゼ-1; **DNaseⅠ**; 9003-98-9; **EC 3.1.21.1**; 脾臓 **DNase**; **DNase**; チモヌクレアーゼ, ドルナーゼ; ドルナバ; ドルナバック; 脾臓デオキシリボヌクレアーゼ; 脾臓ドルナーゼ; デオキシリボヌクレアーゼ (脾臓); 脾臓 **DNase**; **DNAase**; デオキシリボ核酸ホスファターゼ; アルカリ性デオキシリボヌクレアーゼ; アルカリ性 **DNase**; エンドデオキシリボヌクレアーゼⅠ; **DNA** デポリメラーゼ; 大腸菌エンドヌクレアーゼⅠ; デオキシリボヌクレアーゼ **A**; **DNA** エンドヌクレアーゼ; **DNA** ヌクレアーゼ

製品情報

種	ウシの
由来	牛脾臓
形態	カルシウム塩化物を含む凍結乾燥粉末
EC 番号	EC 3.1.21.1
CAS 登録番号	9003-98-9
分子量	mol wt ~31 kDa
活性	> 2,000ユニット単位/mgタンパク質; > 400ユニット単位/mgタンパク質; > 2,000単位/mgタンパク質
緩衝液	0.15 M NaCl: 可溶性 5.0 mg/mL、透明、無色
機能	アクチン結合; デオキシリボヌクレアーゼⅠ活性; エンドデオキシリボヌクレアーゼ活性
単位定義	1 Kunitz単位は、pH 5.0、25°Cで、基質として DNA タイプⅠまたはⅢを使用した場合、1 mL あたり1分間に ΔA_{260} が 0.001 を生成します。[Mg ²⁺] = 4.2 mM。

保存方法

−20℃